

あどぼけいと

HSK



1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号542号

発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会

発行日=2017年5月10日(毎月10日発行)

編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

ホームページ <http://npolife.net/>

2017年5月号

No.197 [May] 定価 100円

あどぼけいと【advocate】=すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

相模原やまゆり園事件 から考える

理事長 我妻 武

昨年7月26日に神奈川県相模原市の障害者施設で19人の尊い命が奪われ、27人が重軽傷という痛ましい事件が起きました。亡くなられた方のご冥福と、負傷された方の心と体の傷が癒えることも祈っています。

この事件を契機に厚生労働省は精神保健医療福祉のあり方を検討していますが、精神保健法の改悪へつながることになるのではないかと危惧しています。一方、施設の管理体制を強化し、外部から侵入者が入れないようにすることなども真剣に議論されています。精神障害者を措置入院で管理して、入所施設は外部からの侵入を防ぐため、施錠を強化する。これでは精神障害者が、ますます地域の中で生きにくくなることですし、入所施設を利用している人も同様です。



その前にやらなければならないことは、共生社会をどのように作り上げていくのか。ここを大事にしないと、これまでの様々な議論や取り組みが台無しになります。そして、精神障害者などが退院した後の地域での支援をどのように構築するか。さらに以前から何度も議論されている入所施設のあり方についても、きちんと議論することではないかと思っています。国や地方自治体が、「施設から地域へ」を合言葉に様々な取り組みを進めてきましたが、このままでは管理される入所施設に逆戻りです。

何より、障害当事者の声が聞こえてこないのは残念でしょうがありませんし、国会での議論はこの国の福祉の貧しさを感じます。事件を風化させることなく、障害があっても地域の中で当たり前で暮らせる社会にしなければいけないと感じています。

以下の大会でも「やまゆり園」についての議論が行われることになっています。関心のある方は主催団体までお問い合わせください。

■第33回DPI日本会議全国集会 in 京都(6月3日~4日)

主催 第33回DPI日本会議全国集会 in 京都実行委員会／認定NPO法人DPI日本会議

会場 ホテルルビノ京都堀川(京都市上京区東堀川通下長者町下ル3-7)

*詳細はDPI日本会議HPをご覧ください。

<http://dpi-japan.org/>

■第4回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会・北海道札幌大会(9月23日~24日)

主催 全国手をつなぐ育成会連合会／北海道手をつなぐ育成会／札幌市手をつなぐ育成会

会場 ロイトン札幌(札幌市中央区北1条西11丁目)

*詳細は北海道手をつなぐ育成会HPをご覧ください。

<http://hokkaido-ikuseikai.com/>

就労継続
支援事業
A型共働事業所 **きばりや**

農業／軽作業

■農業 ■ポスティング ■DM発送 ■軽作業 ■その他委託業務



カフェ・ド・キバリヤ

Cafe de **Kibariya**

喫茶

■カフェ、ランチ、スイーツなど ■食品販売

**カフェ・ド・キバリヤ 10周年**

カフェ・ド・キバリヤ 若森 舞子

これは先日、来店されたお客様のお言葉です。

「ここがオープンしたばかりの頃に来たことがあるのですが、レジを担当している彼(オープン当初から在籍する唯一のスタッフ)、当時はとても緊張していて、接客対応がすごくかたくて、ちょっとこわいくらいだったんですけど、今ではずいぶん柔らかい対応ができるようになって…すごく変わりましたね。」とのことを話されていました。

入社してから約2年半の彼のことしか知らない私にとっては、感情表現が苦手な彼の接客対応に、ひやひやしてしまう場面もあるのですが、彼が今までの10年間、一日一日たどってきた日々の葛藤や地道な努力をして成長してきたことを思うと感慨深く、そしてまた、その彼の成長ぶりを温かな眼差しで見守ってくれたこのようなお客様がいることにも深く感動しました。

現実には、お金を渡すときに、少々雑だったり、「いらっしゃいませ」も、某飲食店のような“スマイル0円”の接客対応ではありません。でも、赤ちゃんを連れてお母さんに、満面の笑顔でトレイを運んでサポートしたり、手が不自由な方には、すばやく、でもさりげなく手助けをしたり…。

本質的な飾らない優しさ、人間的なあたたかさ。不器用で、時には型破りですが…。でも、だからその魅力や伝わるものがここにはあるのだと思っています。

前置きが長くなりましたが、みなさんに温かく見守られて支えられてきたカフェドキバリヤは 2017年5月16日に10周年を迎えます!!

多くの飲食店が、オープンしては消えていく厳しい業界で10年間続けてこれたという重み。オープンから今に至るまでに、さまざまな先輩スタッフの方々が「人や環境に優しい店」をテーマに、試行錯誤しながら貢献されてきたことに、改めてここに感謝と敬意を、そして、いままでご来店して下さったすべてのお客様に、心より感謝です。

10周年感謝キャンペーン開催中!全商品
**10%
OFF**

10周年の感謝のきもちとして、全商品10%オフ! (カフェ店頭販売のキバリヤ野菜も含む)

期間 **5月15日(月)~21日(日)**10周年
特別
メニュー

スペシャルデザートプレートを期間限定で提供!

《単品》
…………… **500円**
《ドリンクセット》
…………… **690円**

**スタッフ全員、心よりお待ちしております!!****今年の1月からカフェ・ド・キバリヤの新しい仲間になった2人です!**カフェ・ド・キバリヤ **西田 昌子**

早いもので4ヶ月が経とうとしております。右も左も解らないでいる私に皆が優しく丁寧に仕事を教えてくださったおかげで今では楽しく仕事をさせていただいております。

また、色々と珍しい野菜や北海道産野菜を使ったメニューにも大変興味を持つようになりました。10周年を迎える年ということで、みんながより楽しく働ける店を一緒につくっていかれたらと思っています。

カフェ・ド・キバリヤ **青木 早枝**

はじめまして。青木と申します。カフェの皆さんにあたたかく迎えていただき、毎日安心して楽しくお仕事させていただいております。

カフェでは、コーヒーの淹れ方、サラダの盛り付け方、ケーキの焼き方など、新しいことをいろいろ教わっています。

一日も早くスタッフの一員として動けるように頑張りますのでよろしくお願いたします。



生活介護事業 **こころや**

お米販売／軽作業

- レクリエーション ■アート活動
- お米の卸し・販売 ■軽作業

こころや 新スタッフ

よろしくお祈いします!

竹田 銘子

今年の2月末から『生活介護事業こころや』で働いています。前は相談室の仕事をしていました。社会福祉士の資格を最近取ったばかりです。

『こころや』は生活介護ですので、仕事が最優先というよりは皆で楽しい時間を過ごせるよう出来る限り工夫しています。

個性的なメンバーが多く、年齢も様々ですが皆で仲良くやっています。一日中笑い声がたえず、毎日のように何かで大騒ぎになり、隣の『きばりや』の皆さんに迷惑をかけています。

今後は住まい作りや高齢化など課題は多いですが、私も力になれたらと考えています。



3泊の温泉旅行に行ってきました。

新井田 琴江

草津、白馬、石和(いさわ)の順に温泉に入りました。どの温泉も気持ち良かったです。

飛行機に乗って温泉に行きました。



ABLE ART KOKOROYA

こころやのアート活動の中から
生まれた作品



「グレートハッピー」松アート 作

せいそう

嬉野 健人

- テレビをふいた。
- リモコンをふいた。
- じよしロッカーをふいた。
- カゴをふいた。
- ゴミばこをはこんだ。
- かがみをふいた。
- ユカをふいた。
- イスをふいた。
- ミドリをふいた。
- じゃぐちをふいた。





就労継続支援事業B型

コン・ブリオ

ひだまり

食品販売飲食業/清掃

- 食堂(ランチ、ドリンク) ■ テイクアウト弁当
- 自然食品、フェアトレード商品販売
- 私立札幌病院床頭台清掃委託業務

お世話になりました。

所長 小野寺 恵

市立病院の清掃業務が4月28日で終了となりました。フクリ企画はじめ清掃業務に関わった多くの人にお世話になりました。ありがとうございました。

これからはひだまりのみんなで食堂を頑張っ
て盛り上げていこうと思っ
てます。

食堂をやってる身として気になる新聞記事

がありました。それは「ウェルシュ菌食中毒」
です。作りおきのカレーや煮物などを食べて
発症する食中毒です。

熱に強いため作って残った場合は、冷蔵庫
で保管するよう気をつけましょう。



ひだまりに入ってから1年 藤川 暉

僕は、昨年春にひだまりに入ってから1年が経ちま
す。主な仕事内容は、店内清掃やチラシ折りや弁当
配達や回収、キッチンの仕事等を充實的に頑張っ
ています。

僕がひだまりに入っ
て今年の春で2年目にな
りますので、これからも
色々な仕事を頑張っ
ていきたいなあと
思います。



市立病院いたくの仕事が 終了する日 藤井 孝雄

2013年4月25日から始まった、4年にわたり
市立病院のいたくの仕事は、2017年4月28日に終
了することになりました。

ファミリーマート市立病院店の協力のもとで、市
立病院の仕事をスタートさせました。午前と午後
に分けて、しょうとうだいのせいそうや、せんたく
きのかんそうきのせいそう、せんたくきのはい
すいこうをふく仕事、せんたくきのまわりを
ふいたりする仕事をしました。

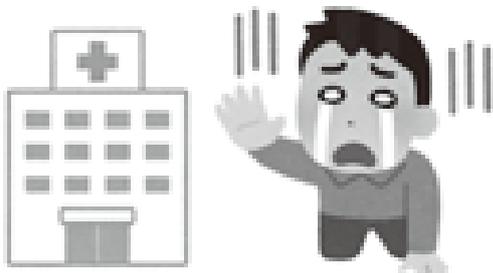
特に台数が多いので土よう日てつだいを
しました。平日は急ぎが多い連発でした。か
んじやさんが出るじかんがかかること
でした。チャージきもふいたり
しました。

この4年間、フクリ企画は
じめ、ファミリーマート市立
病院店のみなさま、病院関係
のみなさまのおかげでした。
4年間どうもありがとうございました。
心よりお礼を申し
あげます。



しりつびょういん 吉川 卓哉

しりつびょういんたのしかつたです。
おわるとさびしいです。





たねや
キャラクター
タネコ

就労継続支援事業B型
共働サービス

たねや

店舗業務/清掃/軽作業

- 自然食品・雑貨などの販売、店舗業務
- 出張販売 ■ 清掃委託業務
- 軽作業

春を迎えて

所長 奥井 忠宏

もうすっかりと春になり、4月に向けて少しずつ隙を見ながら店内リニューアルを続けてきました。

始めてみると出来上がりを褒めたあとには必ず次の改善点が見つかるという素敵な循環に恵まれ・追われ(笑)、メンバー達も店舗力UPにあーでもないこーでもないとお互いに刺激あって「たねや」を作り上げています。

店内のインテリアを整えたおかげで、少しずつ道行く人がお店に入ってくるようになりました。商品力だけでは残れない時代ですので、今後のたねやは店員力などが必要になってきていると、こちらから伝えなくても、それぞれが感じている様子も見受けられます。

益々、皆に支えられて自分が働いていることを感じて、お返しをしていかななくてはと思う良いスタートの春になりました。と、思います(私だけ?笑)。今後も皆が楽しんで販売して、買った人も思わず人に言うほど喜んでもらえるたねやづくりを続けていきます。



たねやの春

鈴木 朗浩

4月になり、フレッシュな雰囲気の人たちを街中で見かける機会が増えました。

たねやでも、お店の看板や雰囲気をリフレッシュしたり、商品内容の検討をメンバーみんなでしたりと、より新鮮な「たねや」を目指して頑張っています。

「ひとりみんなのために。みんなはひとりのために」という言葉がありますが、たねやメンバーは、みんな支えあって、日々仕事に向き合っています。



新年度の目標

大島 隆也

新年度の目標は、新しい作業に挑戦していくことです。

去年は初めて「下水道バザー」に参加しました。

今年は「カイマチ」や他のイベントに参加して、販売を頑張って売上をUPさせたいです。



楽しく過ぎた1年

大森 善子

たねやに来てはや1年が過ぎ、たねやのメンバーともワイワイ楽しく仕事をさせてもらっています。

雪も溶けて歩きやすくなりました。しばらくお休みが続きましたが、久しぶりに来たたねやのお店の中はスツキリとした店内になっていました。

みなさんもたねやに遊びに来てくださいね。

次回のカイマチバザーは…

《開催日》

5月25日(木)、26日(金)

時間: 10:00~17:00

場所: 札幌駅前地下歩行空間 憩いの空間

※sittate札幌のすぐそば

どうぞお立ち寄りくださいませ!



Facebook 『共働サービスたねや』のFacebookでも、商品情報などを随時更新していますのでぜひご覧ください。
随時更新中! <https://www.facebook.com/taneya.life>

共働サービスたねやfacebook

検索



ヘルパー派遣業務・在宅介護支援
ヘルパーステーション

ゆい
繭結

ヘルパー派遣業務／在宅介護支援

- 居宅介護 ■ 訪問介護 ■ 重度訪問介護
- 介護予防訪問介護 ■ 福祉有償運送
- 行動援護 ■ 同行援護 ■ 移動支援

表情を読み取る

ヘルパー 和田 奈緒美

ある日突然、脳梗塞で倒れた方のお話です。自分で起き上がることも、話すことも出来ずに寝たきりの状態。

不安と絶望で辛くてたまらない…でも、笑うだけで家族も看護師さんも、とても喜んでくれたそうです。

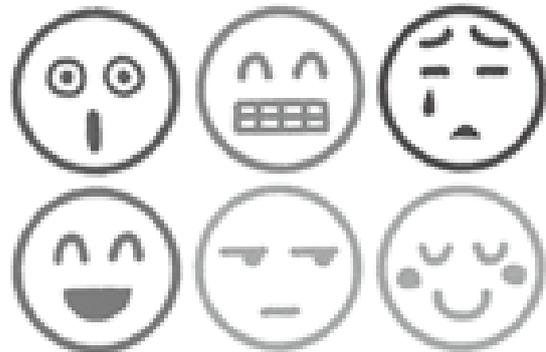
介助をする側の私は、利用者さんが笑ってくれと、とても嬉しく思いますが、この方のお話で楽しそうに笑っていたとしても、もしかしたら今日は、とても疲れているかもしれない。静かに過ごしたいのかもしれない。でも、それに気付かず笑って楽しく過ごそうという勝手な自分の思いで、沢山話しかけていたのかもしれない…などなど、今更ながら気付かされた様に思います。

利用者さんに限らず相手の方の表情や気持ちをくみ取ることは当たり前のことですが、出来

ている様で出来ていない。でも、とても大切なことを改めて思いました。

話は変わりますが、仕事をしていて途中から先輩ヘルパーがその場に来た時「あ！〇〇さんが来た！！」と私が言うと、その場にいた利用者さん達の顔がパーッと明るくなり、とても嬉しそうな顔になりました。

「さすが！すごい！」私もそうなれるよう見習いたいものです。



さいとうのヘルパー 77 講座

～感動する心～

笑いと並んで若さと健康に欠かせないのが「感動する心」です。

感動ホルモンといわれるセロトニンが分泌されると自律神経が整えられ、気持が落ち着いて呼吸が深くなり、精神的安定が得られるなど、さまざまな健康効果が生れます。

セロトニンは「きれいだな」「すごいな」「素敵だな」と思うだけで分泌されます。

日常の小さな感動が健康につながるなら心掛けて、ときめく心を大事にしたいですね♥





札幌市障がい者協働事業所

共働事業所 もじや

印刷事業

- 各種デザイン ■各種印刷 ■その他企画・制作
- グッズ・ノベルティ ■看板・屋外広告 ■のぼり・横断幕
- テープ起こし ■各種データ入力管理

🏠 まだまだ道のりは長い！ 伊東 伸一

私ごとですが、チラシやパンフレット、その他色々なもののデザイン・制作というお仕事をさせてもらっています。

もの心ついた頃から工作して何かを作ったり、絵やまんがを描くことが好きでした。

デザインの仕事を始めた頃は、10年続ければそれなりの仕事ができる人になっているだろうと思っていましたが、20年たってもまだまだいつぱしになれた気がしません...というか、ぜんぜんなっていない。

いつか自分のスキルに満足できる時がくるのかわかりませんが、これからもできるだけ長く、何かを作る仕事を続けていきたいと思っています。

🏠 理想の仕事 三上 宏美

新年度がスタートして2か月が経とうとしていますが、毎月決まった日に請求書の発行や支払いをしていますが、ついこないだのこの様に感じて日々の速さを痛感します。

年度末にさかのぼりますが、もじやの売上傳票の入力が3月だけで60件位あり売上也通常の1か月の約3倍から4倍位になりました。

その間のもじや全員がフル回転です。年度末の慌しさとはまでは言いませんが1年を通してもじや全員が、欲を言えばたねやなど他の事業所も関わられて一致団結できるような、ライフ内の話題になるような、そんな仕事がしたいと思っています。

2017年
4月7日
(金)

年度末打ち上げ大会を開催しました！

西田 彩

もじや恒例『年度末打ち上げ大会』の存在を知る方はいらっしゃるでしょうか...？年末から年度末にかけて繁忙期となるもじやでは、スタッフみんなで忘年会も新年会もできません(涙)。そこで、3年程前から、仕事が落ち着いてくる3月末頃にまとめて打ち上げをするようになったのが『年度末打ち上げ大会』です！

開催場所は、いつも読売ビルの『カラオケ 歌うんだ村』と決まっています。こちらのお店は、バリアフリートイレが完備されているので、車イスのスタッフも安心して利用できます。また、椅子やテーブルの位置を自由に移動することができて、20~40名まで収容可能という大部屋をいつも利用させていただいていますが、とても快適なのでみんな気に

入っています。

もじやが勢揃いする、年に一度の飲み会なので、スタッフ全員がこの会を楽しみにしています。そして、打ち上げが終わると、もじやの長い長い一年がようやく終わったと感ずることが出来ます。

今回は、休養中の清野さんも参加してくれました。お見舞いも兼ねて用意した花束を渡すと、とても喜んでくれました。

もじやのスタッフは、カラオケ好きが多いようで、1年間の疲れや怒りや恨みやらを全部ぶつけるかのように歌いまくりです(笑)。

こうしてまた、来年度の打ち上げ大会を楽しみにしながら、1年間がんばっていきましょう！



札幌市リサイクルプラザ

発寒工房

環境事業／障害者・高齢者雇用促進

■木製家具や子供用遊具の修理・提供 ■自転車の修理・提供



札幌市リユースプラザ

厚別地区リサイクルセンター併設

環境事業／ごみ減量活動

■家具の洗い・簡易修理 ■資源物回収 ■木製家具や子供用遊具などの販売
■リユース自転車抽選販売 ■環境イベント、講座など

新年度をむかえて

リサイクルプラザ発寒工房



入札の経緯から今年度はいろいろドタバタしてしまい、かなり混乱してしまったがこういう事(人の移動)もあると思って受け入れ、今は少し落ち着いた感もある。

その他にも工房では家具の仕事の内容が基本的に洗いのみの簡易修理になってとまどった事もあったが、札幌市からの指示などで、こういうふうになっていく事になったのでこちらの方も今は少し慣れて来た感がある。

生活面では、私事であるが母が自宅の家の中で転倒したり、いろいろな事があるが、これからはそのような事も受け入れて乗り越えて行きたい。

工房は6月から人事異動があるがここまでいろいろな事がありすぎたのでそれも乗り越えて行けると思うので、今まで以上にみんなと協力して少数精鋭ではあるがまさに共に働く事をやって行きたい。

発寒工房 大井 敏彦

チームがレギュラーの人やシルバーの4人の人がいなくなってとってもさびしくおもいます。なかまも6年間いた人がいなくなりましたのでとってもさびしくおもいました。ちょこちょこ休みのときにあそびにいたり、来てもらうようにしたいとおもいます。

かわりに自分が新しいなかまにおしえるまえはとてもきんちょうしました。おぼえるのはすぐにはおぼえられませんけどゆっくりとおしえていきたいです。では8人だけですががんばります。

発寒工房 関 隆弘

就労のスタート時から家具の修理・修繕を担当し、シルバーさん・スタッフの皆さんのご指導によって、完成した時の喜びと同時にお叱りの声を受け、技術だけにとらわれない様々な面で成長させていただきました。そうした中での体制の転換は、戸惑いと同時に現状を受け入れる心の整理ができておらず、今までとは違う日常を見ることは自分の内なるアクションが揺れ動いていたと思います。しかし、何よりも今ある流れを認識し行動することが、自分自身の役割であると思いました。

新しい作業の中で得られる幅は、視野を拡張させ多くの発見を知ることができ、その中でアドバイスやサポートをいただき自らが努力することこそ、ステップアップの道筋であると思いました。

職場の皆さんにご迷惑をおかけしていることが多々ありますが、今は1日1日を大切に、技術と繋がり積み重ねができるように進んでいきたいです。

発寒工房 斉藤 洋平

平成29年度 初の施設見学

リユースプラザ館長 松永 クニ子

4月があっという間に最終日に近づきつつある、22日土曜日にイオン発寒チャーズクラブの小学校1年生から中学3年生総勢15名と付添の方々4名の施設見学がありました。

当日はあいにくの雨でしたが、皆は元気いっぱいの館内を見学しました。展示物だけではなく、ちょうど、家具



西田職員の家具を洗う手元に皆、興味津々です。



工作のようす

洗いをしていたので家具がきれいになる様子も見ることがで、更に自転車の抽選会にも立ち合ってくれました。ボトルキャップとハギレを使ったコサージュづくりをして、最後にはリユースプラザと地区リサイクルセンターについての質問を受けました。参加者は、それぞれに「ごみのこと」「リユースのこと」「家具のこと」「資源物のこと」など気になることを積極的に質問してくれました。10時30分から11時30分までの予定が、11時50分までしっかりとリユースプラザを堪能して帰って行きました。

メディアに取り上げていただいていること

リユースプラザ 小野 克代

リユースプラザは3月後半から4月の初めにかけて道民ならば一度は観たことがあるであろう聞いたことがあるであろう、いくつかの情報番組でご紹介して頂きました。

そのおかげで多くの皆様にお越し頂きイベントよりも賑わうリユースプラザとなりました。たくさんの皆様にお買い上げ頂いた、その中でも特に印象に残っているのが即売の自転車を自分のお小遣いで買ってくれた女の子でした。てっきりお母さんがお支払するものと思いついて構えていたのですが横にいた女の子がお財布を出しお金を出したところで「自分で買うの?」って思わず聞いてし

まい感心するばかりでした。自分で買った自転車はとても嬉しそうだったのできっと大事に乗ってくれる事でしょう。新品ではなくリユース家具・リユース自転車を大事に使ってくれてこそ、この施設の意義があると思います。

「思い入れがあって捨てられないけど何かいい方法はないの?」と問い合わせが多いです。ごみを減らす目的で始めた事業ですが、捨てるのはもったいない! けれど誰かが使ってくれるのであればと出された方の気持ちを忘れずにリユースプラザは新年度も丁寧な対応を心掛けていきたいです。

早く帰って、自分で買った自転車の練習が楽しみ♪



イベントの予定

6月17・18日(土・日)は、「てらこやリユース」

★手作り・市民参加のフリーマーケットなどお楽しみいっぱい!



札幌市委託事業

アウトソーシングセンター

元気ジョブ

マッチング事業

- 民間・官公庁への営業活動
- 受注した業務の振り分け
- 授産品の販路拡大

元気ジョブ入社について



前野 充

4月1日から、元気ジョブに入社致しました前野 充と申します。

出身は、十勝管内の幕別町から車で1時間20分程山奥に

入った農家地帯です。中学3年まで、実家は農業を営んでいました。当然の様に私も中学3年まで学校が終わり次第、農業の仕事を手伝って来ました。特に冬場は、マイナス20度以下に下がる日も多々有る地域でした。家庭の事情で高校から埼玉の叔父の家から高校に通っていました。関東地区の大学も2年で中退して札幌に戻って就職をしました。やはり、東京の生活より札幌での生活が良く今日まで札幌に住んでいます。

前職では、食品(水産加工練り製品)製造販売の営業に長く携わってきました。62歳で定年退職をして現在は63歳になります。この度、縁があって元気ジョブの営業に採用していただき、皆様と一緒に働かせていただくことになりました。元気ジョブの仕事は経験がないので、皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。

私の趣味は、大学2年までサッカー部に所属して頑張っていました。その関係で今でもサッカーが大好きです。特に海外サッカー(スペイン・ドイツ・イギリス)のクラブ試合が好きで、夜中の試合を録画をしてサッカー観戦をしています。皆様の中で、共通の趣味をお持ちの方がいましたら、ぜひお声掛け下さい。

飲食については、甘い物(ケーキ・プリン・クッキー)が大好きです。毎日の様に家庭では、ケーキを食べています。その反面、アルコール類が大の苦手です。宴会等については、出席を致しますが、少しでも飲むとアルコールに酔ってしまいます。

元気ジョブに入社して今日で二週間がたちました。元気ジョブの営業の皆様と、得意先と事業所を同行させて頂き仕事の内容を教えてくださいました。中でも、事業所作業で細かい作業を見学させて頂き、利用者が細かい作業を根を詰めて手早く仕上げていました。私には、とても出来ない作業と思い感動致しました。又、ある事業所では、パンと菓子の作業場の衛生面が行き届いていて驚きました。ここで造られる商品は安心して食べられると思えました。

障害のある人もない人も対等な立場でともに働ける場の創造を目指して元気ジョブの業務が、その一歩となればと考えています。

私としては、長年の営業経験を活かして少しでも多くの企業と事業所を継ぐ為に、一日も早く仕事内容を覚えて頑張っていきますので宜しくお願い致します。

外注したい業務のある企業様に、その業務ができる施設をご紹介します!

役務 パソコン作業/テープ起こし/封入/シール貼り/草刈り/公園清掃/ポスティング/建物清掃 など

授産 印刷/ノベルティ制作/木工品/革製品/石鹸/パン/ケーキ/クッキー/野菜/お弁当 など

販売 出張販売/イベントなどでの出張販売/バザー など

その他さまざまにご相談に応じますので、

詳しくは、元気ジョブまでお問い合わせください! (TEL:011-596-6581)

~施設紹介やイベント情報掲載!~ **元気ジョブブログ** <http://www.genkijob.jp/blog/>



ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

共働事業所さばりや

TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

こころや

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

コン・プリオひだまり

TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812

札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

共働サービスたねや

TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

ヘルパーステーション繭結(ゆい)

TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

アウトソーシングセンター元気ジョブ

TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

共働事業所もじや

TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

相談室らいふ

TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ)

TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808

札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

リサイクルプラザ発寒工房

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835

札幌市西区発寒15条14丁目2-30

札幌市リユースプラザ

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003

札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

5月

イベントカレンダー

20日

札幌市リユースプラザ

(土)

春だ!桜だ!リユースまつり(子どもまつり)
10:00~15:00

25日

たねや

(木)

あつたまるしゅかいマチ開催

ちかほ 憩いの空間(sitatte sapporoのすぐそば)

26日

(金)

10:00~17:00

最新の情報は、
ホームページを
ご覧ください!

<http://www.npolife.net>

NPOライフ

検索

イベント広告



《日時》2017年5月20日(土)
10時から15時まで

《場所》札幌市リユースプラザ

札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

ステージ

川下太鼓キッズパフォーマンス

柳亭互久楽さんによる南京玉すだれ

体験
イベント

● エコなてづくりおもちゃであそぼう!

[11:30~]

● さっぽろ環境かるたでわかるた大会

● ごみ分別ゲーム

[13:00~]

● 岡林名人とのオセロ対決!



他にもお楽しみがいっぱい

リユース
バザール

福祉施設の
館内販売

屋台
コーナー

やさそば、コロッケ
ドリンク各種等

子供用自転車
特別抽選会

10時30分~
限定5台!

~ 皆さまのご来場をお待ちしております♪ ~

ご協力ありがとうございます(順不同・敬称略)

アドボケ購読料 山本 哲生 真光 幹夫 栗田 弘子 藤川 雅司 熊谷 智義

寄付金 山本 哲生 真光 幹夫 栗田 弘子 山本 价則 匿名希望1名

賛同会員会費 佐藤 靖子 谷上 隆 平川 則男

協賛団体会員費 NPO法人 ベトサダ

 **ライフカンパのご案内** ~だれもが地域であたりまえに暮らし、働くことができる社会を作ろう~

ライフは障害の種別を超え、「働きたい」と願う人の気持ちを繋ぐために25年以上活動を続けてきました。これからも、障害のある人ない人をはじめ、社会的に不利な状況にある人たちも含めた、共に働き共に生きていく「社会的事業所」づくりをすすめていきます。ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

お振り込み先	口座番号/加入者名
北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
札幌信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

月替わりコラム
~私のオススメ~

春の山菜

きばりや 上神田 一朗

北海道は新緑の季節になりました。この時期に野山で採れるウドを食べるのが楽しみのひとつです。4月の雪解け時期に採れるフキノトウもそうですが、冬の間に溜め込んだものをデトックスして血が洗われるような気がして、毎年意識して食べるようにしています。旬のものを身体に取り入れる。ウドは捨てる部分が無い食材で、白い部分を定番の酢味噌和え、葉は天ぷら、むいた皮はキンピラに調理すると美味しいですが、変わり種としてはカレーピクルスにすると美味しくて箸がとまらなくなります。みなさま是非お試しください。

●ウドピクルスの作り方

【材料】

- ・ウド(皮をむいた白い部分)..... 200g
- ・酢..... 1/2カップ
- ・水..... 1/4カップ
- ・砂糖... 大さじ2
- ・塩..... 小さじ1/2
- ・ターメリック..... 適量
- ・クミンシード..... 少々
- ・ブラックペッパー(ホール)..... 数粒
- ・ローリエの葉..... 1枚

※ターメリックとクミンはカレー粉でも代用可

- ①皮をむいたウドを酢水に漬けます(変色防止)。
 - ②熱湯で10秒ほど煮ます。適当な大きさに切ってビンにつめます。
 - ③調味料を全部入れて煮立たせたものをビンに注いで完成です。
- 2、3日後から食べられます。
鷹の爪や違うスパイスを入れてアレンジも可能です。

編集後記

ようやく花の季節。この冬は一人暮らしになったこともあるが、雪が多くて本当に大変だった。しかし、ご近所やライフのメンバーたちに声をかけてもらったことが何より嬉しかったし、有難かった。改めて地域の中での住む所や様々なサポートなど、色々なことを考えた。またある会で親や配偶者と一緒に暮らしていた障害者が、親や配偶者の高齢化や死別したことで、施設暮らしを希望している話を聞いたが、何とも切なくなった。地域での生活を望んでいたはずなのに暮らすことが難しくなっている現実もある。だからこそ新年にライフで掲げた構想を少しでも早く具体化して、一つの花を咲かせたいと思っている。(タケ)

おどばけい
2017年 5月号
No.197 定価 100円

2017年5月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号542号 1973年1月13日第三種郵便認可 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
E-mail main_lifemail@npolife.net ホームページ http://npolife.net/ 郵便振替口座 02710-4-63485